

## 外国語学部 中国学科 教育における三つの方針

### 学位授与方針 [学士(中国学)]

#### ■ 知識・理解

- 人間と「自然・環境」「思想・文化」「地域社会」「国際社会」「歴史」との関係性の総合的な理解、環境問題に関する正しい知識など、21世紀の市民として必要な教養を身につけている。【総合的知識・理解】
- 高度な中国語運用に必要な専門的知識と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を持っている。【専門分野の知識・理解】

#### ■ 技能

- 中国語文献資料を活用した調査研究能力を身につけている。【専門分野のスキル】
- 情報社会における情報及び情報システム、インターネットの特性を理解し、それらを活用する技能を身につけている。【情報活用能力】
- 自然現象や社会的事象に関する量的調査の基本的な考え方と分析技法を身につけている。【数量的スキル】
- 中国語の「聴く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく習得し、知的会話が円滑に行え、中国語で書かれた文学作品や学術論文などをスムーズに理解することができる。【中国語力】
- 英語の「聴く・話す・読む・書く」の4技能を用いて、日常生活のニーズを充足することができる。【英語力】

#### ■ 思考・判断・表現

- 中国及び中国語圏に関わる諸問題について、学際的、複眼的な思考・判断によって問題を分析・解決することができる。【課題発見・分析・解決力】
- 専門的知識を応用しながら、日本語のみならず中国語で自分の意見を明晰に表現することができる。【プレゼンテーション力】

#### ■ 関心・意欲・態度

- 中国及び中国語圏を舞台に活躍・貢献するという明確な目的意識と行動する意欲を持っている。【実践力(チャレンジ力)】
- 自分自身で心身の健康の保持増進を行うことができる。【自己管理能力1】
- 「人間全般」や自分自身についての省察を深め、自らの持つ可能性を見出し、将来のキャリア構築に向けて積極的・主体的に準備行動ができる。【自己管理能力2】
- 人間の総合的な理解を通して得られた責任感、倫理観を自覚し、その深い理解をもって帰属する社会において積極的に行動できる。【市民としての社会的責任・倫理観】
- 中国及び中国語圏の文化・社会等に対する関心を深めることができる。【生涯学習力】
- 他者と協働し、かつ独自の見解を持ち、目標を設定し、コミュニケーション力を発揮できる。【コミュニケーション力】

### 教育課程編成・実施方針

中国学科では、教育目標を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

- 「基盤教育科目」から32単位以上、「専門教育科目」から84単位以上、「自由選択科目」から8単位を修得する。
- 「基盤教育科目」は、人生における生き方や社会での活躍を支える人間性・主体性・社会性の育成を目的とする科目群である。「教養教育科目群」から8単位以上、「情報教育科目」から2単位以上、「外国語教育科目」から8単位以上を修得する。
- 「専門教育科目」は、読解力・聴解力・表現力とコミュニケーション力の養成を重視した授業による実践的中国語の習得、中国に関する知識の獲得、主体的かつ論理的な思考の養成を目的として、「必修科目」と「選択科目」で構成する。

「必修科目」は「専攻外国語」「基礎教育科目」「演習科目」の3つの科目群で構成し、「選択科目」は、「専門科目」「関連科目」の2つの科目群で構成する。各科目群の内容は以下のとおりとする。

#### 専攻外国語(必修科目)

入学時から卒業までの期間に、「聴く・話す・読む・書く」の4技能を系統的に習得し、実践的中国語を身につける科目群である。1年次を初級レベル、2年次を中級レベル、3年次を上級レベルと位置付け、中国語検定2級相当以上のレベルを総合的に身につけるための総合科目を設置するとともに、表現力やコミュニケーション力をさらに向上させるため、会話・リスニング・作文等の科目も配置する。38単位を修得する。

□ 演習科目（必修科目）

中国語文献資料を活用した調査研究能力を身につけ、課題分析能力、解決能力及びプレゼンテーション能力を向上させる科目群である。少人数のゼミ科目として、3年次に研究演習、4年次に卒業研究演習を配置する。8単位を修得する。

□ 基礎教育科目（必修科目）

中国語運用に不可欠な知識を学習し、中国及び中国語圏の文化、社会、歴史などへの興味を深めるための科目群である。1年次に中国文学概論、中国文化論、中国近現代史など6科目を配置する。3年次進級条件として、2年次までに10単位以上を修得する。

□ 専門科目（選択科目）

高度な中国語の運用能力とそのために必要な知識や、中国及び中国語圏の言語、文学、文化、経済などに関する専門的知識を身につける科目群である。主に中国語に関連する科目、中国の文化、経済、歴史及び政治に関連する科目を配置する。履修モデルの提示によって、学生のゼミ選択や進路に合わせた有効な選択ができるよう指導する。22単位以上を修得する。

□ 関連科目（選択科目）

中国及び中国語圏の文化・社会等に対する関心を深めること、また中国及び中国語圏に関わる諸問題について学際的、複眼的な思考、判断によって問題を分析・解決する能力を向上させるための科目群である。中国周辺地域の文化や政治に関連する科目、国際関係に関する科目を配置する。4単位以上を修得する。

- 「自由選択科目」は、中国学科学生の自主性や積極性、課題探求力を養成するための科目群である。「基盤教育科目」または「選択科目」の「専門教育科目」のうち必要単位数を超えて修得した単位、もしくは海外の大学で修得した単位のうち8単位までを認定する。

### 入学者受入れ方針

中国学科では、次のような学生を求めています。

- 中国語・中国文化をはじめ、言語や異文化の学習に意欲的で、将来、高度な中国語運用能力を活用し、国際社会で即戦力として活躍することを目指す学生